



新年あけましておめでとうございます。  
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

平成 27 年 1 月発行 No.41  
発行者「礎」荒川 一義

## 市長提案理由説明

▼国においては、人口減少対策と東京への一極集中を是正し、人の流れを変え魅力ある地域づくりを進めるため、「まち・ひと・しごと創生本部」を 9 月に設置すると共に、先般、地方創生関連 2 法が成立しました。国は今後 5 年間の施策の方向性を盛り込む総合戦略を早期に策定する事としています。▼市としては、国の総合戦略を踏まえ、七尾版総合戦略を策定し、引き続き「ふるさと七尾」の発展に資する施策に重点的な財源配分を行い、地域活性化・交流人口の拡大に努めるとその決意を述べました。▼来春には、北陸新幹線金沢開業や能越自動車道七尾氷見道路の全線供用、さらには、港湾施設の整備が進む七尾湾など、交流基盤が充実するとし、官民一体となって七尾の強みである観光、医療・介護、食品加工業を強化し、地域経済・産業の活性化を図ると致しました。▼医療・介護サービスの充実、子育て支援の拡充や、学校の適正配置と教育環境の充実に努めると共に、福祉や防災における支え合いの仕組みづくりを確立して行きたいと致しました。▼平成 27 年度予算は、この様な視点に立って新たな財源の確保にも努めながら、選択と集中、創意と工夫を凝らした予算編成となるよう取り組んで行くと致しました。▼一般会計補正予算では、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 7 億 249 万 3 千円を追加し歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 326 億 3,197 万円としました。▼今定例会は、一般質問の「一問一答方式」7 名、「一括方式」6 名、計 13 名が質問に立ち、活発な議論が交わされました。▼今議会の概ねについてご報告致します。

## ■平成 26 年度 12 月補正予算

(1)一般会計の補正予算額 7 億 249 万 3 千円の増額

①一般会計 12 月補正予算の推移



	12 月補正予算額	12 月補正後予算額	対前年比
平成 26 年度	7 億 249 万 3 千円	326 億 3,197 万円	△3.9%
平成 25 年度	6 億 1,446 万 8 千円	338 億 9,944 万円	△1.9%
平成 24 年度	28 億 7,433 万 7 千円	345 億 7,196 万 6 千円	+9.6%

②財源内訳

国庫支出金	1 億 1,593 万 6 千円	県支出金	9,585 万 1 千円
分担金及び負担金	704 万円	財産収入	1 千円
寄付金	1,640 万円	繰入金	7,898 万 1 千円
地方交付税	2 億 9,895 万 6 千円	諸収入	1,363 万 1 千円
市債	1,700 万円	財調・合併特例債	5,869 万 7 千円

(2)一般会計の主要事業		(千円)	
事業名	事業内容	事業費	担当課
社会福祉総務事務費	社会保障・税番号制度導入関連システム改修費 事業期間…H26年度～H28年度	22,194	福祉課
障害者医療費等助成事業	心身障害者(児)医療費助成事業費(市単)	4,200	
障害者自立支援給付費	障害者介護給付費の事業実績見込み増額	30,558	
	障害者訓練等給付費の事業実績見込み増額	65,554	
	特定障害者特別給付費の事業実績見込み増額	2,209	
障害者地域生活支援事業	日常生活用具給付費の事業実績見込み増額	2,000	
障害児給付金	障害児通所給付費相談支援給付費の増額	7,737	
高齢者福祉総務事務費	社会保障・税番号制度導入関連システム改修費 事業期間…H26年度～H28年度	4,489	保険課
児童福祉総務費	社会保障・税番号制度導入関連システム改修費 事業期間…H26年度～H28年度	5,870	子育て支援課
	児童扶養手当法等の一部改正システム改修費		
私立保育園所運営費	入所児童数の増加見込みによる保育委託費増額	63,894	
後期高齢者医療事業費	社会保障・税番号制度導入関連システム改修費 事業期間…H26年度～H28年度	3,247	保険課
温泉健康増進事業	健康増進センター「アスロン」温水ボイラーポンプ 取替修繕	2,200	健康推進課
上水道高料金対策費	上下水道の高料金対策に対する支援繰出措置 内容…資本費が全国平均 164 円を超える部分に対する助成。対象地区…中島町(資本費 203.71 円/m <sup>3</sup> )	10,184	料金業務課
機構集積協力金交付事業	農地中間管理機構へ一定割合以上の内を貸し付けた地域に対しての協力金(佐野集落)	4,559	里山里海 振興課
農業経営法人化等支援	集落を単位とした農作業受託組織(任意組織)が、 H26 年度以降に法人設立を行った場合の助成。 助成額 40 万円 対象事業 3 件	1,200	
里山営農継続支援事業	農業機械及び施設整備(外原農業機械利用組合) 県 33%、市 5%、地元 62%	1,958	農林課
県営圃場整備事業	高階地区圃場整備事業費…事業進捗を図るための 増額 (暗渠排水工事)	4,950	
消防署運営費	消防本部庁舎空調設備修繕工事	3,500	消防本部庶務
幼稚園就園奨励費	第2子及び第3子以降の所得制限撤廃による対象拡大 生活保護世帯への補助限度額の増額	1,198	子ども教育課
等伯生誕の地七尾事業	事業主体…等伯生誕の地 PR 事業支援委員会 事業内容…等伯立像(ブロンズ)の建立	16,400	文化課
(3)特別会計の補正予算額		3,635 万 6 千円の増額	

# ■七尾市立七尾中学校(御祓中、朝日中、田鶴浜中…南エリア)イメージ図

【七尾市ホームページ】

[その1]鳥瞰図(全景南側から)



[その2]正面(南側から)



※ 基本設計及び実施設計によって変更になる場合があります。

## ●「これまで」と「今後の予定」

### ○これまでの主な流れ

- ・7月17日締切 指名型プロポーザル
- ・8月22日 プロポーザル審査委員会
- ・9月22日 基本・実施設計契約  
(株)浦建築研究所

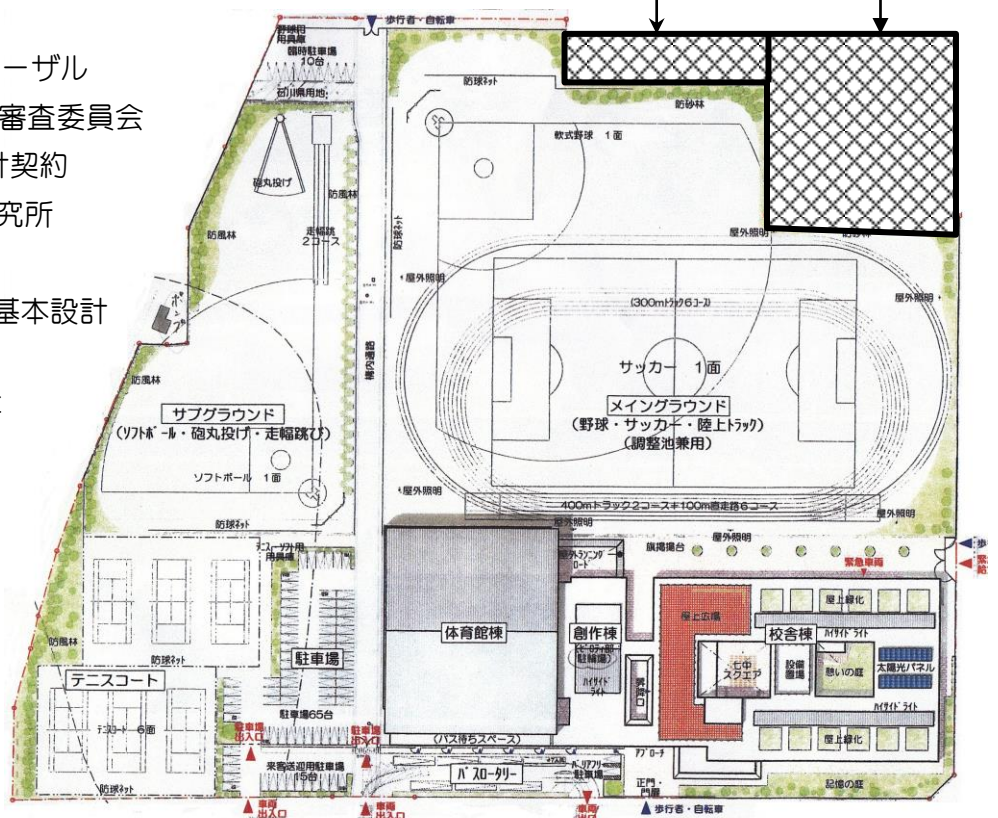
### ○今後のスケジュール予定

- ・平成26年度 9月～12月 基本設計
- ・平成27年度 1月～実施設計  
9月～本体工事
- ・平成28年度～平成29年2月  
本体工事
- ・平成29年4月 開校



(追加買収) 5,869万7千円(H26取得)

(追加買収 H27取得)



## 平成 26 年度第 2 回議会報告 <市民と議会との懇談会>

○参加者(合計 199 人)

11月12日(水)		11月13日(木)		11月14日(金)	
金ヶ崎公民館	9人	相馬公民館	14人	袖ヶ江公民館	36人
鉦打公民館	6人	高階公民館	19人	豊川公民館	51人
崎山公民館	18人	能登島公民館	25人	御祓公民館	21人
計	33人	計	58人	計	108人

<次第> 19:00~20:30

- ・開会挨拶、議員紹介
- ・議会報告
- ・懇談会  
人口減少対策について  
地域の課題等市政全般
- ・閉会

### ○アンケートでの主な意見

- ・山積する課題に対して、行政と地域が一丸となって取り組む事が大切だと痛感した。
- ・人口減少問題をはじめ、福祉・防災対策など、市民も意識改革をし、より良い環境をつくり、住んで良かった七尾市であってほしい。
- ・市民の市政(市や地元)に対する意識改革が必要。市民のすべてにおけるレベルアップが必要。
- ・農業や林業を企業化し、若者が安定した生活が出来る様にすべき。
- ・議会の説明か行政の説明か分からない。議会が行政の代弁者になってはいけない。
- ・行政のチェックをする議員は、もっと地域に根差して住み良い七尾市にしてほしい。
- ・新幹線開業により、買い物客は都会に流れる。七尾市の商業施設はどう対処するのか。
- ・若い人が働く場がないので、人口も減り市に税金が入らない。介護保険料も他市町より高い。
- ・新聞の県内首長の日程について、七尾市長はほとんど「所要で市内」などとしか掲載されていない。これでは何もしていない様に感じるので、もっと活動内容を市民に伝えてほしい。

### ○各会場での主な意見

- ・交流人口が増える事はお金が落ちると言う事か、地域の力が付くと言う事か。空き家や空き店舗が減る事にどう繋がって行くのか？
- ・地元が良いと思う物を売り込むのではなく、よそから来る人が何を求めて能登、七尾へ来るのか、ニーズを把握する事が大事だ。
- ・今日のこの場を今後どの様に議会として取り扱うのか？
- ・統合中学校から中島中学校が単独で残るが、今後の中島中学校の方向性は？
- ・子どもが少ないと、今後が厳しい状況。いろんな定住に向けた制度の見直しをしてほしい。
- ・若い男性は奥手で厳しい状況もあるが、若者が魅力ある地域にしていく必要がある。
- ・結婚率の増進、出生率の増進をするために、結婚を促進してほしい。ハッピーリタイアメントで高齢の方より、若者に結婚を促進する施策を組織的に考えよ！ そうすれば出生もあるはず。
- ・観光客誘致、企業誘致も大事だが、もっと地元の人や企業を大事にした方が若者が定住する。
- ・議員自らが自分の子供達に地元に残るような指導をしたほうが良い。
- ・統合中学校の件で、3中学校の跡地をどうするのが地域としても大きな課題だ。
- ・若い人の移住に対する七尾市の施策は何か？若い人が住む為に土地を安くする事が出来ないか。
- ・何もかもするのは難しいのは分かる。何かを犠牲にして人口減少対策を講ぜよ！
- ・税金などの関係か、中能登町への流出が多いと思う。どう感じるか？
- ・かかりつけ医の紹介状がない患者の初診料を上げる事について、市民に充分 PR してほしい。
- ・保育料を無料化すれば、人口流出の歯止めは少しはなるのではないか。



※新年の『年賀状によるご挨拶』は、『公職選挙法』の規定に基づき、遠慮させていただきますのでご了承願います。



